

報道参考資料



この報道資料は 7 月 8 日に北京で発表されたリリースのご参考訳文です。

ブルーレイ・ディスク・アソシエーション

2008 年 7 月 8 日

DRA、BDA の技術評価テストに合格 ブルーレイ・ディスク・フォーマットへの採用に向かって大きく前進

本日、ブルーレイ・ディスク・アソシエーション(BDA)は、中国で開発された新たな音声圧縮技術「DRA (Digital Audio Coding)」が BDA の技術評価テストに合格したことを発表いたします。これにより、中国で開発された DRA はブルーレイ・ディスク(BD)フォーマットへの正式採用に一步近づきました。今回の結果は、BDA 合同技術委員会の下に設置されたオーディオコーデック評価テクニカルタスクフォースの技術者たちの懸命な努力と、中国華録集団(China Hualu Group)と DigiRise Technology との協力により実現しました。

BDA 中国タスクチームリーダー 松村純孝のコメント:

「中国で開発された音声圧縮技術である DRA が BDA の技術評価テストに合格したことを喜ばしく思います。BDA は現在、BD フォーマットの一部として DRA を正式採用するための最終段階の作業を行っています。BDA はこの分野の議論や評価に対して常にオープンな姿勢を維持しながら、考え得る最良のフォーマットを追求しています。テストは、作成において主要ハードウェアメーカーやコンテンツプロバイダーなどの主要ベンダーが貢献した BDA の世界評価基準に従い、厳密に実施しています。」

中国華録集団 副社長のソンヘ・イン(Songhe Yin)氏のコメント:

「DRA が BDA の技術評価テストに合格したことをとても嬉しく思います。これにより、DRA が BD フォーマットに採用されるための道が切り開かれたこととなります。弊社は DRA ができるだけ早く BD フォーマットに採用されるよう、今後も BDA と密接に協力して残りの手続を行っていく考えです。今後、DRA の BD フォーマットに採用されることにより、DRA が市場に受け入れられるための条件が整うこととなります。」

ブルーレイ・ディスクについて

ブルーレイ・ディスクは、高品位オーディオビジュアルの記録および大容量データのソフトウェア・アプリケーションのために開発されたデファクトスタンダード(事実上の業界標準)の次世代光ディスクです。片面1層ブルーレイディスクには最大25ギガバイト、片面2層ブルーレイディスクには最大50ギガバイトのデータを記録することができます。

ブルーレイ・ディスク・アソシエーション (BDA)について

ブルーレイ・ディスク・アソシエーションは、ハイビジョン映画、ゲームソフト、写真、その他のデジタルコンテンツを保存可能な次世代光ディスクであるブルーレイ・ディスクの規格プロモーションやビジネス促進を目的に活動しており、アップル、デル、ヒューレット・パッカード、日立製作所、LG電子、三菱電機、松下電器産業、パイオニア、フィリップス、サムソン電子、シャープ、ソニー、サン・マイクロシステムズ、TDK、トムソン、20世紀フォックス、ウォルト・ディズニー、ワーナー・ブラザーズを始め、180社以上が加盟しています。

本件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先:

ブルーレイ・ディスク・アソシエーション広報事務局

(株式会社プラップ ジャパン 内)

担当:佐伯 卓也、藤沢 佳隆

電話: 03-3486-6839

e-mail: BDA@prap.co.jp

Web: <http://www.blu-raydisc.com/jp.html>